



令和6年度 中国ブロック地域づくり研修

資料3

令和7年1月24日

霞くらぶ

ふれあい喫茶の取り組み

広島県福山市 2025.1.24

1 福山市の概要

2024年11月30日現在

人口	455,366人
高齢者人口	134,329人
高齢化率	29.5%

2024年3月31日現在

介護保険認定者		割合/高齢者数
要支援	11,384人	8.5%
要介護	17,509人	13.0%
合計	28,893人	21.5%

2024年3月31日現在

通いの場の状況	
百歳体操	163か所
居場所（週2回以上）	64か所
サロン（週1回）	100か所
サロン（月1回）	370か所



2 立ち上げの経緯

活動の課題

- ・街中に位置し、町内に活動場所が少ない
- ・公民館は他の会合などで予約が埋まっており、日程調整が困難

霞幼稚園の共用廃止（2000年）

- ・最初は市の事務所（レセプト点検）として使用
⇒ 2012年レセプト電子化に伴い引き上げ
- ・学区での管理を相談するが、貸し出しは難しいとの回答
- ・最終的に公共的な位置づけ（高齢者の居場所）として使用許可を得る

- ・園内の片づけ、修繕は全て学区で
⇒ 有志ボランティアで床補修・壁紙の張替え
- ・町内の事業所から寄付（エアコン・備品）、看板の制作

霞くらぶOPEN（2014年）

- ・2014年10月 霞くらぶ ふれあい喫茶OPEN（利用者15人、ボランティア2人）
- ・現在は利用者40人、ボランティア11人

3 活動状況

ふれあい喫茶のコンセプト

ボランティアに対して

無理をしない

- 融通が利く範囲で（いつでも休める）
- 用事があれば途中退席OK（時間の融通）
- 当番を決めない

満足感

- 楽しんで参加・生きがい
- 地域の人と関われる
- 学ぶことがたくさん

参加者に対して

一人にしない

- 初めて来た人に必ず話しかける
- 人によって対応を変える
- 学区外の人でも歓迎（誰でも歓迎）



3 活動状況

活動の工夫

参加のハードルを下げるために

- ・ 男性は口コミ・知人からの誘いを積極的に
- ・ 招待券（コーヒー券）を配布
- ・ 定期的な席替え



季節のイベント の開催

クリスマス・ひな祭り
七夕・豆まき・ハロウィン



共通の楽しみを つくる

- ・ カープの歌を歌う
（歌った日はカープが必ず勝つ！）
- ・ クイズの出題



参加者を 講師役に！

- ・ お茶の腕前披露
- ・ 折り紙の折り方教室
- ・ 編み物教室

3 活動状況

展示コーナー



作品
展示

絵、手作りの品など



エコな
取り組み

家で使わなくなった物
(持ち帰りOK!)

3 活動状況

おもちゃサロン (2017年4月～)

お母さんの孤立対策 (社会福祉協議会事業)

・ 高齢者も交流



年齢差100歳!



お母さんと交流

4 長続きするための運営継続のポイント

担い手の満足感の向上

ボランティアの確保

《友人を通じてお誘い》

- ・週1日だけでもOK
- ・来れるときだけでOK
- ・用事があれば休んでOK



ミーティング (実施後)

《情報共有》

- ・地域のできごとを共有
- ・利用者と話したことを共有



お食事会

《スタッフだけの食事会》

- ・季節ごとに実施
- ・みんなで話し合っ
場所や内容を決める

行政の支援

- ・運営支援：200,000円/年（週3日実施の場合）
- ・幼稚園跡地の有効活用（使用料免除）
- ・おもちゃの貸出し（社会福祉協議会）

5 インタビュー

Q

どんな居場所にしたい？

A

- ・ケンカせず誰でも来れる
- ・多世代の人に来てもらいたい（高校生・外国人など）
- ・いろいろな情報交換ができる

Q

どんな街になったらいい？

A

- ・安心安全で住みやすい
- ・高齢者を含め働きやすい
- ・居場所の数がたくさんある



座右の銘

『逆らわず！ いつも笑顔で！ 従わず！』



マスター
枝廣 稔さん（87）



ご清聴ありがとうございました。